

風に耳をすまそう、君に耳をすまそう・・・自分に耳をすまそう

(彩都の丘学園校歌より)

校長 桑野 啓子

新緑の美しい、風薫る5月になりました。子どもたちもわたしたち大人も、ドキドキとわくわくの両方の気持ちで迎えた2023年度の4月があっという間に過ぎました。互いに顔を見合わせて、ことばを交わすことも叶った新年度のスタートは、改めてとても嬉しくありがたい気持ちがしております。

さて、「ながみちくんがわからない」(作・数井美治、絵・奥野哉子 BL出版)という本と出合いました。この本のタイトルは、語り手の「わたし」のつぶやきです。わりきれ、割り算が好きな「わたし」にとって、同じクラスのながみちくんは、何を考えているのかがわからない、わりきれない男の子です。わりきれなくて、「あまり」が出るような。わからなくて落ち着かない「わたし」は、ながみちくんを研究することにしました。帰り道、ながみちくんのうしろを歩く「わたし」。空がだんだん、あかね色になり。。。さて、「わたし」には、ながみちくんがわかったのでしょうか。彩都の丘学園には1569名の子どもたちがいます。同じ人はひとりもいません。学園の校歌にもあるように、自分の思いと同様に、まわり人の思いも想像しながら、一人ひとりが安心して、自分の持ち味を大切に、学園生活が過ごせるように支援していきたいです。

4月26日から1年生の給食が始まりました。市の「地域支援ネットワーク」のモデル校として実施しています「ぶちサポ」活動も、毎年この給食見守りからお世話になっております。学園は「学ぶ、鍛える、つながる」を目標としています。4月はクラスや学年の「横のつながり」のスタートでした。4月26日には5年から9年による第1回目学園委員会がありました。どの委員会も委員長や副委員長へ立候補が多数あったと聞いています。代表委員会では「どんな学園にしていきたいのか」について、抱負を述べあって委員長副委員長を決めたと聞いています。このような異学年交流は、「縦のつながり」の良い経験となります。5月1日には5年から8年の縦割り行事「つながり校区オリエンテーリング」があります。「ぶちサポ」メンバーさんや、校区青少年を守る会さんにもお声をおかけして、見守りをお願いしております。1年から4年の子どもたちは、小グラウンドにおいて、縦割り「なかよし行事」を予定しています。一貫校ならではの様々な異学年交流を活用して、子どもたちのつながりを深めていきたいと思えます。今年度も子どもたちの活動に、保護者のみなさん、地域のみなさんのお力添えを賜ります。どうぞよろしく申し上げます。